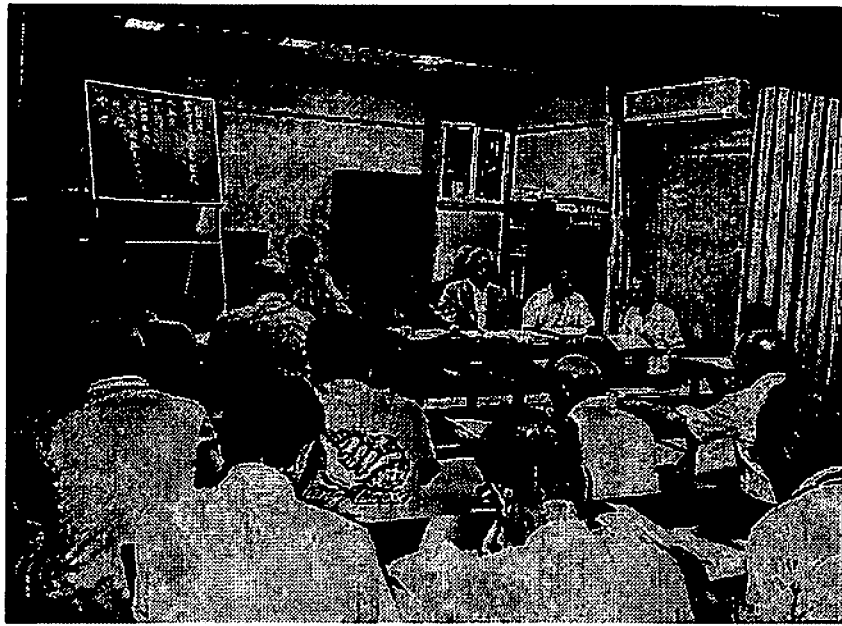


自彊里づくり計画



平成14年 6月

自彊里づくり協議会

目 次

1. 自彊地区の現況と課題	1
1) 地区の現況	1
2) 課題	3
(1) 生活環境	
(2) 営農	
(3) 防災・防犯	
(4) コミュニティー	
(5) 景観	
■図 1-3. 現況図	4
■図 1-4. 課題図	5
2. 整備目標及び方針	6
1) 生活環境整備	
2) 農業振興	
3) 地域整備・土地利用	
4) 2つの取り組み体制	
3. 自彊里づくり計画	7
1) 農業振興計画	7
(1) 営農体制づくり	
(2) 水稲・野菜の生産	
(3) 貸し農園、直売所などの設置	
(4) 農業用水の安定確保	
2) 環境整備計画	8
(1) 環境整備体制づくり	
(2) 自彊の環境資源の保全と活用	
(3) ゴミ対策	
(4) 福祉・医療及び教育・文化	
(5) 市民公園の整備と活用	
(6) 有馬川の活用	
(7) 防災対策	
3) 土地利用計画——農村用途区域の設定	10
(1) 農業保全区域	
(2) 環境保全区域	
(3) 集落居住区域	
(4) 特定用途区域	
4) 景観の保全及び形成に関する計画	11
(1) 景観評価と景観形成ガイドラインの形成	
(2) 景観ポイントの設定	
5) 都市との交流に関する計画	12
(1) 武庫川・有馬川の活用	
(2) 貸し農園・体験農園の整備	
(3) 交流に活かせる環境資源の発掘と創造	
(4) 塩田地区広域散策ネットワーク	
■図 3-1. 里づくり計画図	13
4. 関連資料	14
1) 土地利用計画図	15
2) 里づくり計画策定経過	16
2) 役員名簿	16
3) 自彊里づくり協議会規約	17
4) 自彊里づくり計画アンケート調査結果	19

1. 自彊地区の現況と課題

1) 地区の現況

計画対象区域は、平成11年10月23日に設立（市認定平成10年6月9日）された自彊里づくり協議会区域（図1-2）とする。

自彊地区は、道場町北西部に位置し、集落の南側を有馬川が西から東に流れ、その南側を東西に県道「切畑道場線」が通っている。集落東側には武庫川が北から南へ流れ、対岸に沿ってJR福知山線が走る。北西約2kmに位置する三田駅は、神戸電鉄の始発駅でもあり、車で約15分の距離にある。また、南東約1kmに位置する道場駅は車で約2分の位置にある。有馬川上流には、国道176号線を経て、中国自動車道西宮北インターチェンジへ、車で約8分の位置にある。

平成12年の国勢調査によれば、当地区の世帯数は、総世帯数85戸で、うち農家世帯数は29戸である。

当地区は全域が市街化調整区域（都市計画法）および共生ゾーン区域（人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例）で、同条例に基づく農村用途区域としては、現況に合わせて農業保全区域に指定されている。

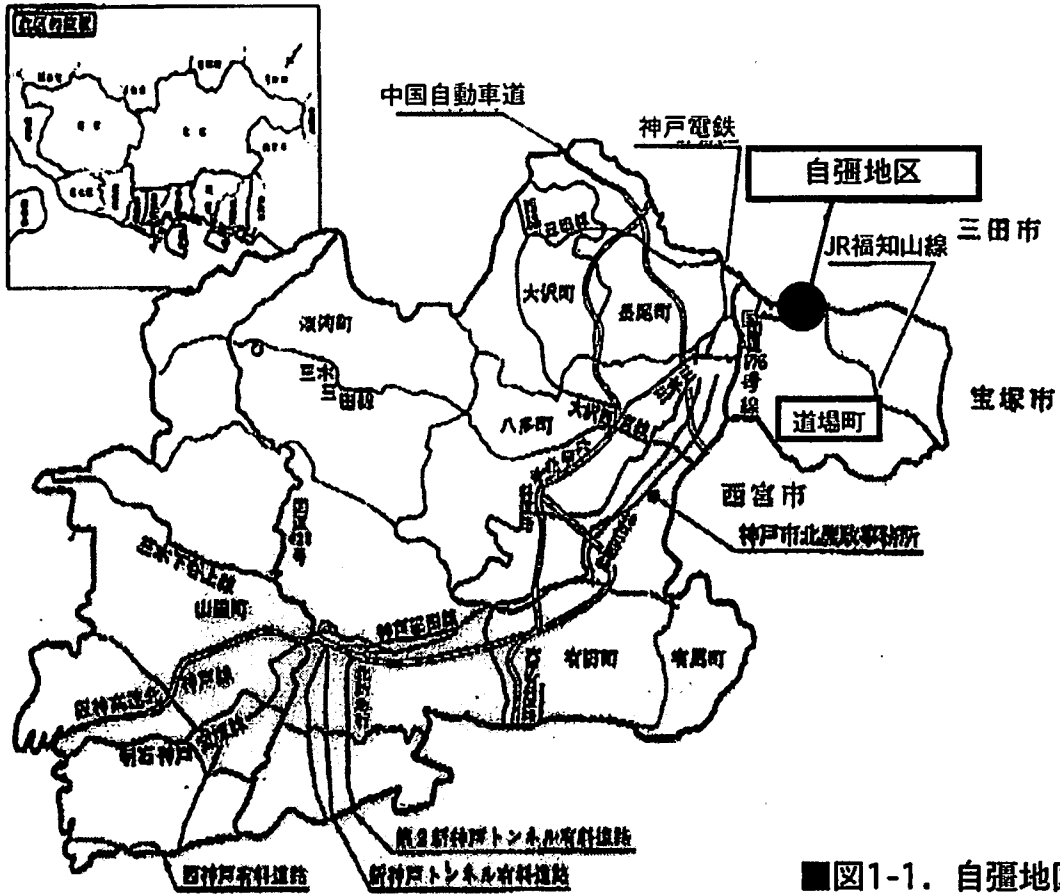
農業基盤整備については、団体営ほ場整備事業によって、生産基盤の整備は終了している。農業生産面では、基盤整備された優良農地で水稻作を主体とした兼業農業が営まれている。

項目 年度	専業別農家数 (戸)				農家人口 (人)	農業従事状態世帯員数 (男)			農業従事状態世帯員数 (女)			農業従事状態世帯員数合計 (人)
	総農家数	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家		自家農業のみ	自家農業が主で兼業が従	自家農業が従で兼業が主	自家農業のみ	自家農業が主で兼業が従	自家農業が従で兼業が主	
90年	27	4	1	22	115	6	1	24	16	1	12	60
95年	26	7	-	19	99	14	1	19	12	1	8	55
00年	29	3	-	26	109	6	1	11	7	-	4	29

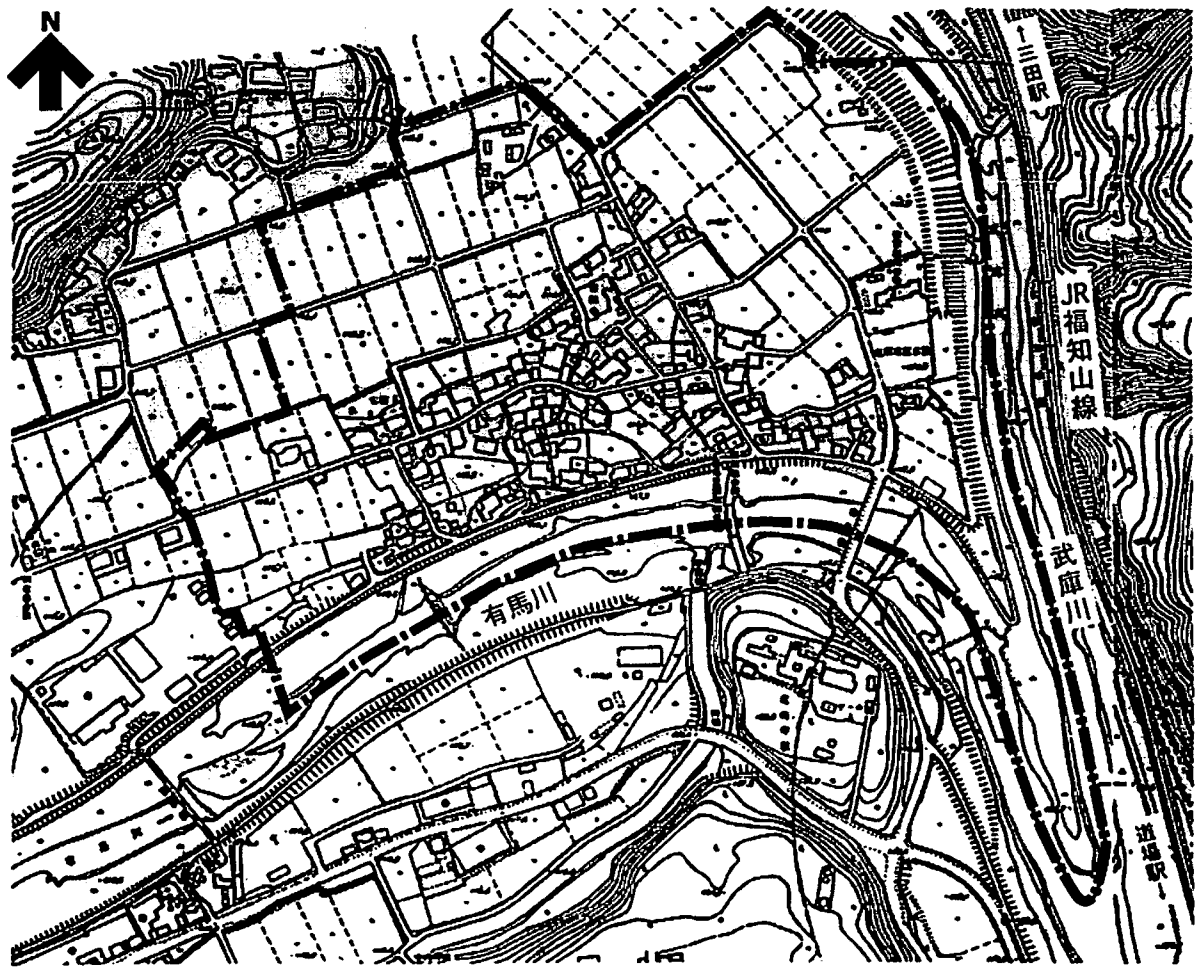
■表 1-1 自彊地区の農業概要 (1) (2000.農業センサスほか)

項目 年度	経営耕地面積 (a)				主要作物別収穫面積 (a)				家畜飼育戸数・頭数 (戸・頭)			
	田	畑	樹園地	合計	稲	野菜	大豆	飼料作物	乳用牛		肉用牛	
									戸数	頭数	戸数	頭数
90年	1,244	-	-	1,244	938	75	160	54	-	-	-	-
95年	1,133	6	-	1,139	1,027	2	9	-	-	-	-	-
00年	1,328	37	-	1,365	740	-	-	-	-	-	-	-

■表 1-2 自彊地区の農業概要 (2) (2000.農業センサスほか)



■図1-1. 自彊地区の位置



■図1-2. 自彊里づくり協議会区域

2) 課題

自彊里づくり協議会区域の現状把握のため、協議会役員を中心にフィールドワークを実施し、そこで明らかにされた課題を、協議会区域内の具体的な場所と共に明確にするため、協議会の場で点検マップを作成した。

また、地区内の20歳代以上の住人に対して、生活環境、土地利用・環境保全、農業、地域行事に関するアンケート調査を実施した。

ここでは、これらによって明らかになった課題をまとめる。

(1) 生活環境

- ・ 付近の工場からの煙や夜間の騒音対策を求める。
- ・ 増水時など、有馬川の堤防に強度上の不安がある。
- ・ 集落内の道路について、車道としての狭さや見通しの悪さ、通過交通（特に有馬川堤防上）が問題になっている。
- ・ 通過交通との関連でゴミ投棄が問題になっており、地区外からの持ち込みゴミの投棄にも対策が必要である。
- ・ 有馬川、武庫川堤防法面の管理（草刈等の実施）主体の明確化が必要だ。

(2) 営農

- ・ 渇水期の用水確保（安定した水確保）
- ・ 集落ぐるみで機械の共同利用や農地の維持管理に取り組む必要がある。
- ・ 貸し農園や直売所などを含め、他地区との協同も含めて検討してみる。

(3) 防災・防犯

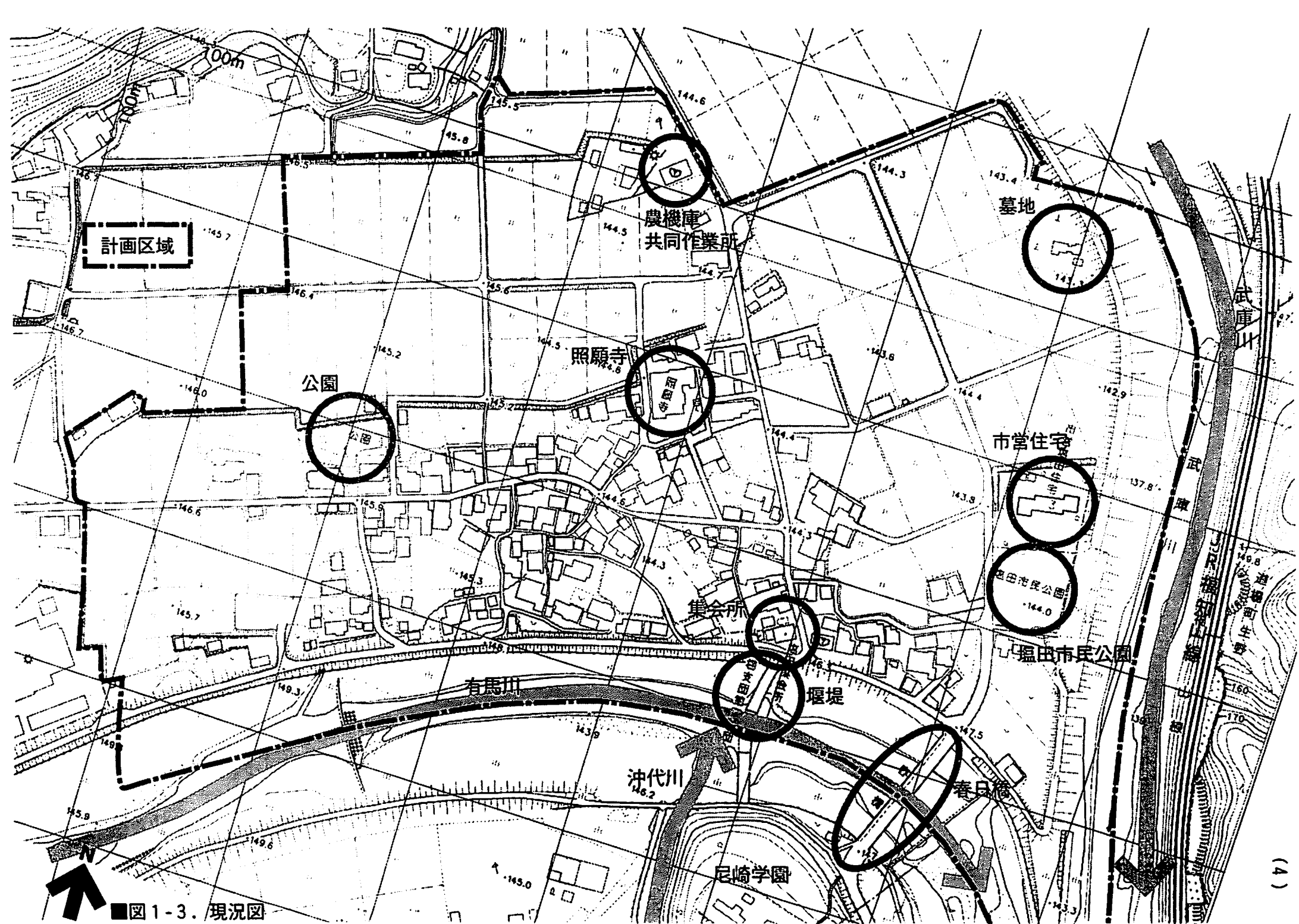
- ・ 昭和13年の経験を持つ人もおり、常に水害への不安を抱えているため、有馬川の護岸の強化整備が求められている。
- ・ 過去の災害の経験を活かして地区の「防災マニュアルづくり」に取り組む必要がある。
- ・ 地区内に防火用水の確保と消火栓を整備する。
- ・ 地区内の街灯の現状を調べ、対処する。（防犯灯マップの作成）

(4) コミュニティー

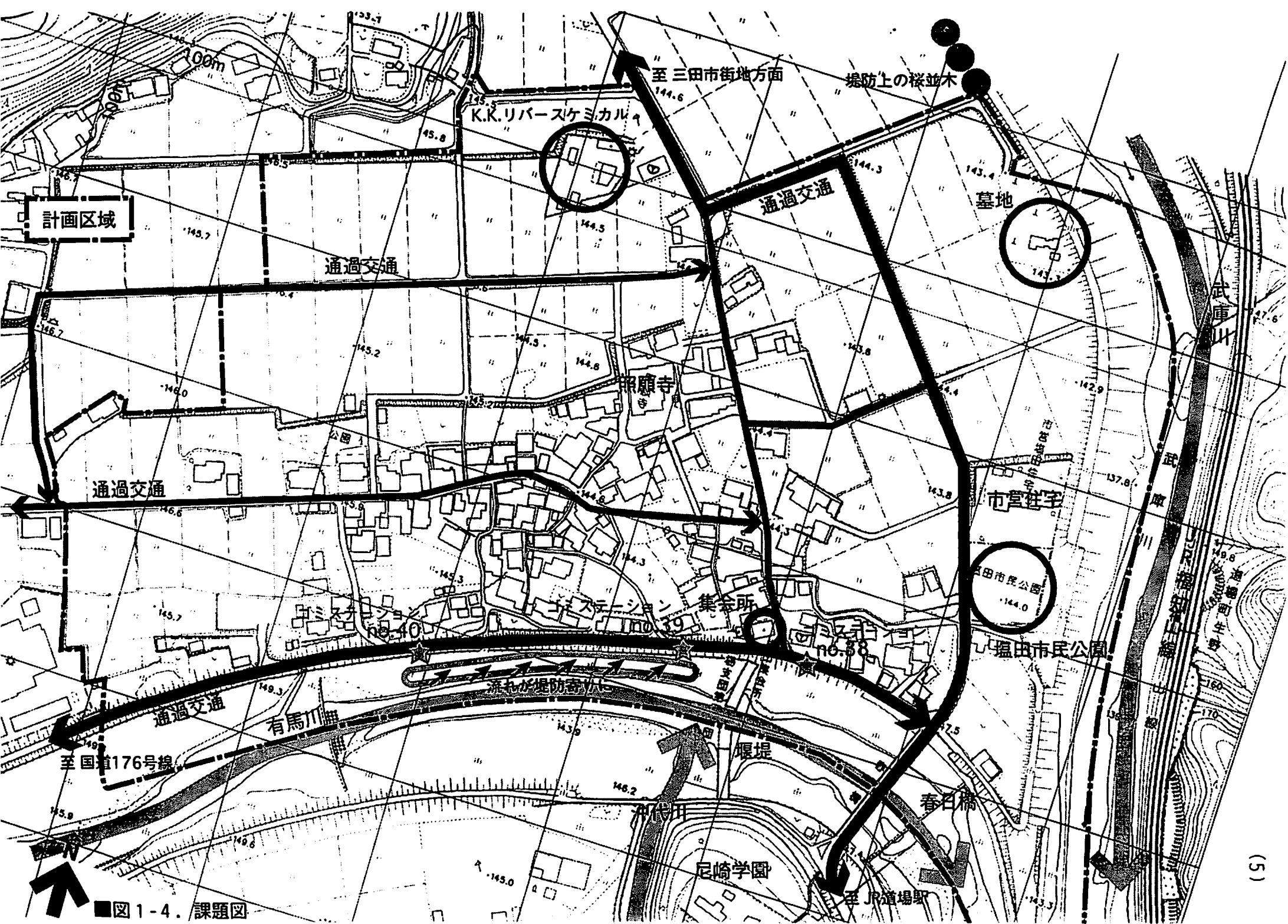
- ・ 里づくり協議会に地域外の人に参加できるようにするなど、地域外居住者も自彊の里づくりに参加できる仕組みづくりが必要だ。
- ・ 地区の高齢化と共に、集会所の新しい活用策を検討する必要がある。
- ・ 地区内の交流、世代間の交流、地区外との交流が必要だ。

(5) 景観

- ・ 自彊の伝統や文化に根ざした農村的風情を分析・評価する。
- ・ 自彊の景観にそぐわないものを作る場合の対策を検討する必要がある。
- ・ 地区からの眺めや日々の暮らしを通じた親しみ深い場所を大切にする。
- ・ 視界や上空の開ける有馬川堤防上や河川敷を散策できるように整備する。



■ 図 1-3. 現況図



■ 図 1-4. 課題図

2. 整備目標及び方針

地区の立地条件と農村的風情を活かすことを前提に、生活環境の改善・整備を軸としながら、地区農業の将来を見据えつつ、現状に即して取り組む。

1) 生活環境整備

- ・ 自彊の地域資源を評価し、保全と活用を図る。
- ・ 有馬川の増水や氾濫などの水害対策、地区内の防火、街灯設置を含めた防犯対策等、快適で安全な生活環境をつくる。
- ・ 有馬川を地域資源として位置付け、活用すると共に、地域おこしへの取り組みを推進する。(河川、河川敷、井堰、護岸等)
- ・ 農地への安定した用水確保、ホタルやメダカ等の生息する良好な自然環境形成、地区内の防火用水の確保という面から、地区内の用水システムの改善に取り組む。
- ・ 地区内道路の通過交通を安全や快適性の面から、制御する対策を検討する。
- ・ また、道路の接続箇所の見直し改善など、歩車双方の視点から、地区内道路の現状把握と改善に取り組む。
- ・ 集会所の活用策をソフトの面から検討する。

2) 農業振興

- ・ 基本的に、現状に即し、無理なく段階的に取り組みを行っていく。
- ・ 地区農業の現状を踏まえ、維持だけの農業から活かす農業に向かって、気負わず楽しみながら、できることから始める。
- ・ しかし、地区内に閉じられた農業でなく、隣接集落どうしや塩田地区全体での連携や協同により、経営や作業上の負担を互いに軽減しつつ、新しい地区農業のスタイルも視野に入れて取り組む。

3) 地域整備・土地利用

- ・ 有馬川、武庫川、集落地域、農地等、現状の秩序ある土地利用を維持する。
- ・ 現存農地は、用途を限定し、基本的に保全を図る。

4) 2つの取り組み体制

- ・ 自彊地区独自の問題に対しては、単独で取り組む必要がある。
- ・ 一方、取り組む課題やその対象によっては、隣接集落どうしや塩田地区全体での協同による取り組みが有効となる。そのため、塩田地区の里づくり地域協議会等を活用していく。(有馬川の防災や用水確保・親水整備、農産物の少量多品目生産や直売所・貸し農園、通過交通問題などが該当する)

3. 自彊里づくり計画

1) 農業振興計画

現状に即して、無理なく段階的な取り組みを行う。また、地区農業の現状を踏まえ、維持だけの農業から活かす農業に向けて、気負わず楽しみながら、できる農業から始める。

(1) 営農体制づくり

- ・自彊里づくり協議会で、地区農業について継続して検討を行う。協議会内に農会を核にした農業振興部会（仮称）の設置を検討する。

(2) 水稲・野菜の生産

- ・機械利用組合を軸に稲作経営コストの低減を図り、良質米の生産を図る。
- ・時間的なゆとりのある高齢者や女性を対象に、家庭菜園での「昔野菜」の復活などに取り組むことも検討する。

(3) 貸し農園、直売所などの設置

- ・都市住民は家庭菜園的な農地を求める要求が強く、これに応える貸し農園の開設や体験農園などの設置を検討する。
- ・直売など、生産者と消費者の結びつきを重視し、相互理解を図る交流の場として、地場農産物直売所の開設を検討する。
- ・これらは、自彊単独での検討に限らず、隣接する川北集落や塩田地区全体での協同による取り組みも考慮し、その場合の自彊として可能な役割を合わせて検討する。

(4) 農業用水の安定確保

- ・地区農業の取り組みで課題になるのが用水確保である。このため、有馬川の取水堰の改良と取水システムの改善に向けて取り組む。
- ・この用水は、防火用水としての役割も担っており、生活環境面からも検討が必要となっているため、関係機関への支援・協力や改善要請を継続して行っていく。



■道路脇の水路に豊富な水が流れる。(2002.2)

2) 環境整備計画

自彊の環境資源を再評価し、共有する意識の下に保全と活用を図る。

(1) 環境整備体制づくり

- ・地区の環境整備に対して、当里づくり協議会内で中心的に取り組む体制をつくる。協議会内に、地区内で諸々の活動を行っている各種団体などを核にした環境整備部会（仮称）を設置する。

(2) 自彊の環境資源の保全と活用

- ・暮らしの中で「気に入っている事や場所、誇りに思える事や場所、親しみ深い事や場所」、「懐かしい場所」、「かつて遊んだ場所」、「子ども達に受け継がせたい事や場所」を自彊の環境資源として再評価して共有し、対象となる場所や事の保全と活用を図る。
- ・防災対策と同時に、有馬川の河川敷とその周辺地を、自然環境の視点から河川敷を整備し、親水空間として活用する。

(3) ゴミ対策

- ・農地や河川へのゴミ投棄対策として、地区内の通過交通ルート沿道で、投棄の被害を被っている問題農地や河川敷を特定し、自彊の景観に配慮しながら看板などを設置する。また集落で、空き缶、空きビン拾いを実施する。
- ・家庭用生ゴミ対策として、土壌還元するなどゴミの減量化につとめる。
- ・ゴミの発生抑制、再生利用（リサイクル）、ゴミの分別処理など、集落ぐるみの取り組み検討を進める。

(4) 福祉・医療及び教育・文化

- ・老人会の活動を活性化する。
- ・世代間の交流を行い相互理解を深める。老人会と子供会、婦人会、自治会などによる協同運営の行事を利用する。集落や地域の伝統行事などを復興させたり、アレンジしたりすることで、地区内の多くの人の参加が得られる。
- ・趣味、健康問題などについての相互学習の機会を持つ。
- ・高齢者へのやさしい言葉かけ運動や気軽に交流できる場所を設ける。
- ・こうした場所として、集会所を活用する。
- ・道路接合部分にできた不整形な土地等が花や木で彩られていることが多い。こうした日常の個々の取り組み評価して、集落全体に展開していく。

(5) 市民公園の整備と活用

- ・子どもと高齢者とのふれあいの場や住民の心のよりどころとなる市民公園に、花木を植栽するなどの整備を検討する。現在、クリの木がある他、隣接する市営住宅敷地内にはクスノキやサクラの高木が植栽されているが、これを活かして一体的な整備を検討する。
- ・隣接する市営住宅周囲にあるサクラを活かし、武庫川堤防上を市民公園から墓地までの区間、連続した桜並木として整備する。

(6) 有馬川の活用

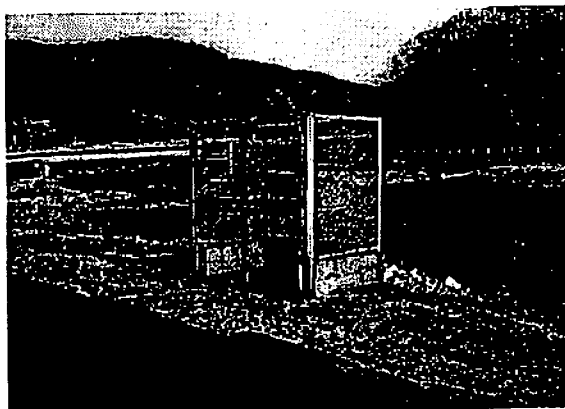
- ・ 歩行者、自転車用道路を活用し、川に沿って散策できるように整備する。
- ・ 現在行っている、堤防周辺の草刈作業の維持策について検討する。通過交通の現状などから、公共的な利用と位置付け、関係機関への共同管理や支援の要請も必要に応じて行う。
- ・ 世代を越えて、地区内外の多くの人たちが有馬川に関わり、関心を持つような様々な取り組みを、河川の管理策と関連づけながら行っていく。例えば、流域清掃のような関係集落による行事の他、生物観察会など環境学習の場としての活用も考えられる。こうした取り組みには、周辺集落や小中学校等との協同により実現可能となる。

(7) 防災対策

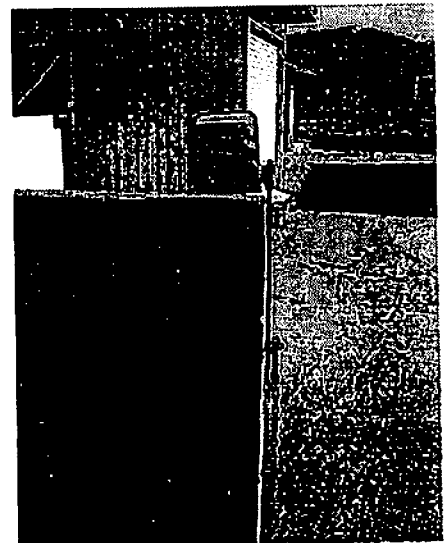
- ・ 有馬川の水害対策について、地区で取り組めることと関係機関への要請により実現を図ることとを分け、身近に取り組める部分からまず着手していく。
- ・ 過去の水害の経験を活かして、「地区防災マニュアル」づくりに取り組む。非常時のランク分けと、対応した避難場所や避難ルートの設定を行い、地区内で周知し共有を図る。また、定期的な避難訓練などを年中行事の一環として行い、水害経験を子ども達に伝える機会とするなど、世代間交流にも役立てていく。

(8) 集落の道路空間と交通対策

- ・ 集落内の道には、人のみを通る程度の幅から、車の通る広さまで幾つかのスケールがある。これらの道は、生活上の用途や場面に応じて使い分けられており、こうした多様な道路網が自彊らしさの一要素と言えるだろう。例えば、家の間の抜け道では、突然視界が抜けて家並みや遠くの山並が見通せる箇所があり、こうした身近な場所での視覚的な変化は自彊のらしさであり魅力の一つと言えよう。
- ・ 一方、道路接合箇所は、道幅や屈曲、高低差などによって、見通しが悪い場合がある。各戸で小さなミラーを設置して対処しているのが現状だが、こうした箇所の安全対策も検討していく。



■現在のゴミステーション



■出入口に取付けられた小さなミラー

3) 土地利用計画 ————— 農村用途区域の設定

秩序ある土地利用計画を進めるため、資材置き場といった景観に影響を及ぼす恐れがある土地利用については、地区内で協議し調整を図る。

- (1) 農業保全区域
ほ場整備による優良農地のまとまりを中心として散居家屋などを含めて指定されている。当面区域変更は計画しない。
- (2) 環境保全区域
当面区域指定は計画しない。
- (3) 集落居住区域
当面区域指定は計画しない。
- (4) 特定用途区域
当面区域指定は計画しない。

4) 景観の保全及び形成に関する計画

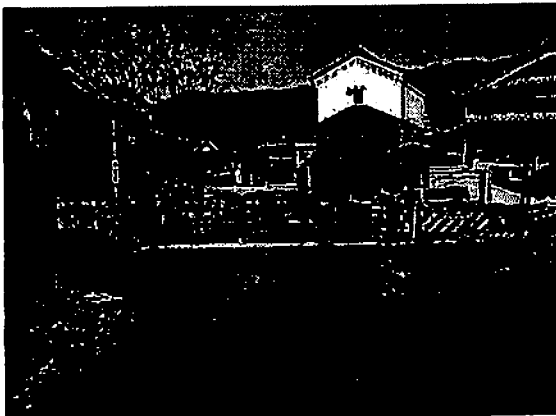
有馬川、武庫川、農地、家並み、四季の変化など、現在評価されている景観を維持し、将来的に良好な景観を形成していく。

(1) 景観評価と景観形成ガイドラインの形成

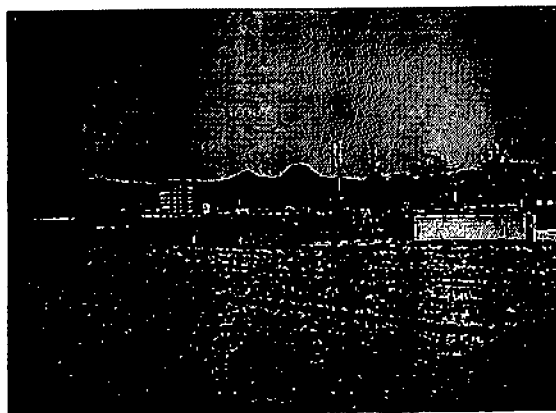
- ・ 集落内の視界の開ける地点や、微妙に曲がった沿道の眺め等、日常の暮らしの中で経験的に共有している景観を、当たり前前の景色から「自彊らしさ」として再評価し、保全形成していくものであることを理解してもらいたい。
- ・ 地区内で日常的に体験しているものの中に、自彊らしさとして認識し共有すべきものがある。
- ・ そうした現在の自彊の景観をとらえ、分析・評価し、自彊らしさの特徴を導き、その質を議論して、今後地区内の諸開発や建設行為、設置物等に対して、景観的に制御するためのガイドラインを設ける。

(2) 景観ポイントの設定

- ・ 景観をとらえる定点ポイントを設定し、景観指標とする。景観ポイントの候補地として、宮前橋、有馬川や武庫川の堤防上などがあげられている。



■道路の進行方向正面に、白壁の蔵や、茅葺屋根、お寺の屋根など印象的な建物がある場合が多い。こうしたアイストップが、自彊の集落内の沿道景観を特徴付けている。



■特異な形をした羽束山は景観上のシンボリックな存在となっている。自彊の集落内では、堤防上や内部から視界が抜けて遠方の山並が見通せる地点がある。こうした場所を景観ポイントとして位置付けたい。

5) 都市との交流に関する計画

近接するニュータウン等の都市との交流に双方向性を持たせ、交流の中で相互の関係を深め、互いの地域の活性化を図る。

(1) 武庫川・有馬川の活用

- ・ 武庫川や有馬川は、防災上の不安要素ばかりではない。地域の自然環境を代表する貴重な資源でもある。その視点に立って、これら河川の管理策を、塩田地域の小中学生や近接する都市住民との交流に活用する。
- ・ 流域清掃などのボランティア行事や、身近な生物の観察会などで、環境学習や文化交流の機会を設ける一方、有馬川や武庫川に対する認知や関心を引きつける。こうした行事には、県立人と自然の博物館等外部機関の協力も必要で、塩田地区全体あるいは流域集落との協同による取り組みも検討する。
- ・ 健康づくりへの関心が高まっている中、その機運を利用して、河川敷の整備と共に、堤防上のルートと合わせて、河川に沿った散策コースを整備する。

(2) 貸し農園・体験農園の整備

- ・ 減反田の有効利用によるいも掘り農園などの実施。
- ・ 市民貸し農園の取り組みの検討。

(3) 交流に活かせる環境資源の発掘と創造

- ・ 自彊地区とその周辺には、塩田八幡宮や照願寺、有馬川などの資源の他に、伝統行事などもまだ存在している。こうした伝統行事などを、地区内のコミュニティの活性化策として利用するだけでなく、無形の資源として都市との交流にも活用していく。

(4) 塩田地区広域散策ネットワーク

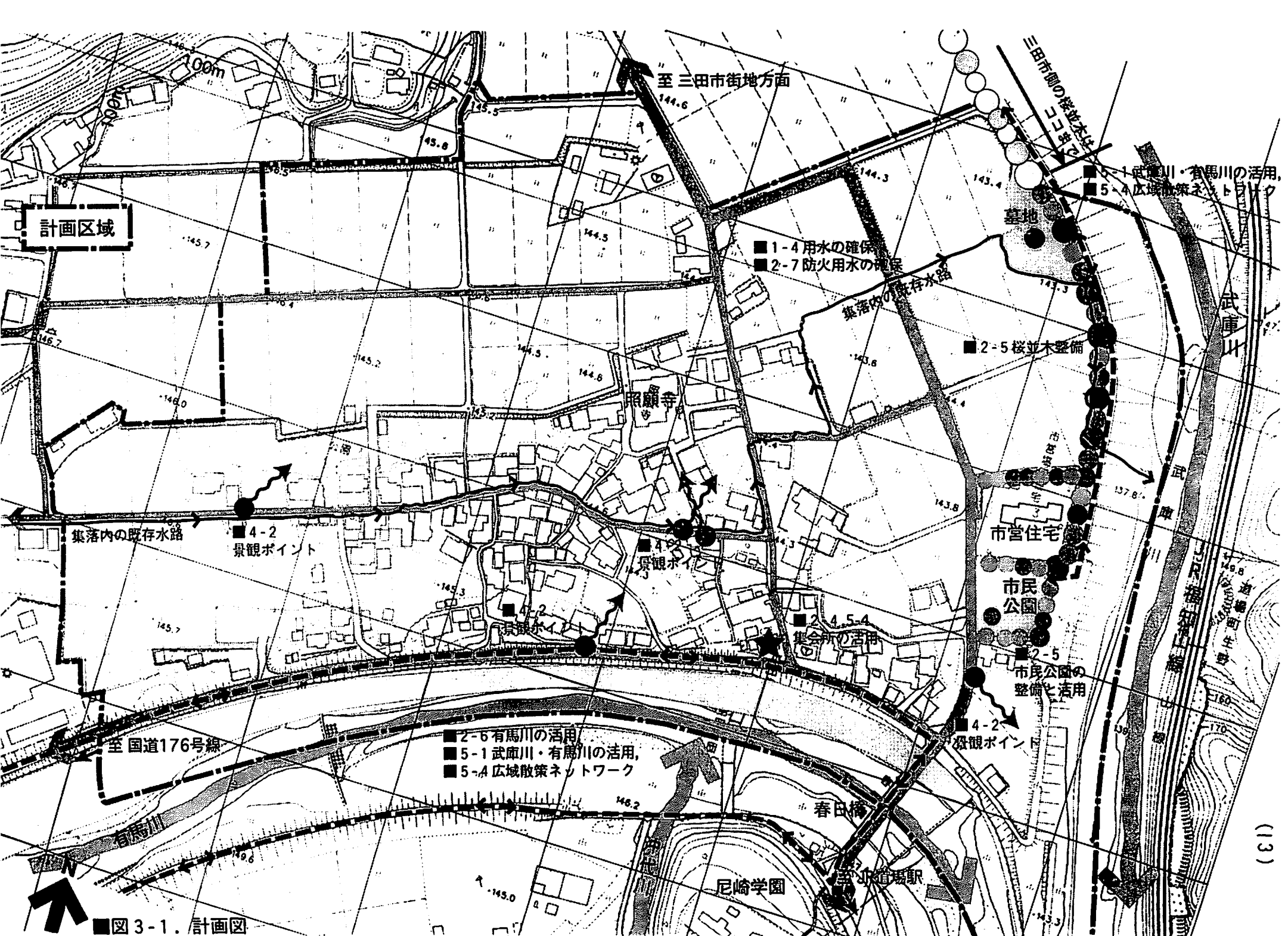
- ・ 三田市街まで約2 km、道場駅まで約1 kmという距離にある当地区は周囲に自然や観光資源が点在し、塩田八幡宮や照願寺、古城跡等、歴史資源も豊富である。そこで、先の河川散策ルートを含めて、塩田地区に広域散策ルートを整備する。その中継点として、集会所や市民公園などをトイレ開放、休憩所提供等で活用していく。



■武庫川堤防を見通す。墓地から南は植栽もなく歩道も整備されていない。



■市営住宅周囲には桜が多く植栽されている。



計画区域

至三田市街地方面

三田市の接点水柱
二ノ目

■ 1 武庫川・有馬川の活用
■ 5-A 広域散策ネットワーク

■ 1-4 用水の確保
■ 2-7 防火用水の確保

■ 2-5 桜並木整備

集落内の既存水路
■ 4-2 景観ポイント

■ 4-2 景観ポイント

市営住宅
市民公園
■ 2-5 市民公園の整備と活用

■ 4-2 景観ポイント

至国道176号線

■ 2-6 有馬川の活用
■ 5-1 武庫川・有馬川の活用
■ 5-A 広域散策ネットワーク

春田橋

尼崎学園

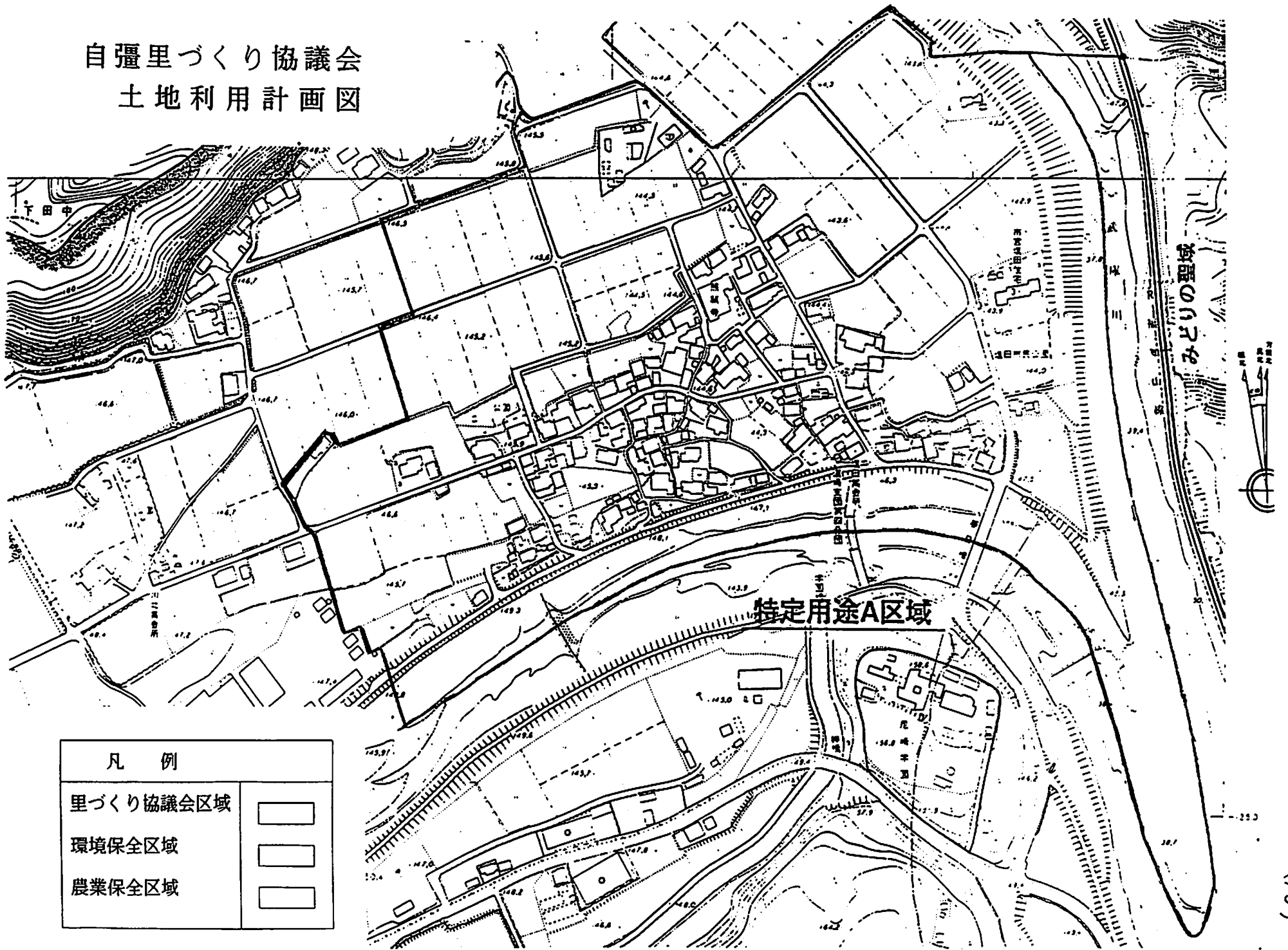
三田道場駅

■ 図 3-1. 計画図

4. 関連資料

- 1) 土地利用計画図
- 2) 里づくり計画策定経過
- 3) 役員名簿
- 4) 自彊里づくり協議会規約
- 5) 自彊里づくり計画 アンケート調査（調査票および結果）

自彊里づくり協議会
土地利用計画図



凡 例	
里づくり協議会区域	
環境保全区域	
農業保全区域	

里づくり計画策定委員会活動経過

年月日	実施内容	参集者者
11. 9. 12	・里づくり計画策定の進め方について ・現状と問題点について ・塩田地区の現状把握（フィールドワーク） （塩谷、野田、新、自、川）	アドバイザー 協議会役員 6名
12. 7. 4	・里づくり計画策定推進調整会議	協議会役員 7名
13. 2. 22	・里づくり計画、重点項目の検討	協議会役員 29名
3. 16	・集落現地調査	アドバイザー 協議会役員 13名
	・集落点検 －里づくり問題点課題点検マップ－ ・意見交換	アドバイザー 協議会全体 29名
5. 29	・集落営農の現況・課題の検討 ・里づくりアンケート内容検討	協議会役員 13名
6. 9	・里づくりアンケート調査実施	
9. 11	・里づくりアンケート集計結果の提示 ・意見交換	アドバイザー 協議会全体 22名
11. 17	・里づくりアンケート集計結果分析 ・里づくり計画策定に向けて検討	アドバイザー 協議会全体 10名
14. 2. 8	・里づくり計画まとめ	協議会役員 5名
6. 8	・里づくり計画（素案）の検討	協議会役員 名
6. 15	・里づくり協議会総会	アドバイザー 協議会全体 名

自彊里づくり協議会役員名簿

平成12年 7月 1日

役職	氏名	☎	住所	電話
会長	南本貞	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
副会長	福田博			
〃	西畑護			
会計	南本福夫			
相談役	西畑亨治			
〃	下岡一則			

自彊里づくり計画 アンケート調査結果

はじめに

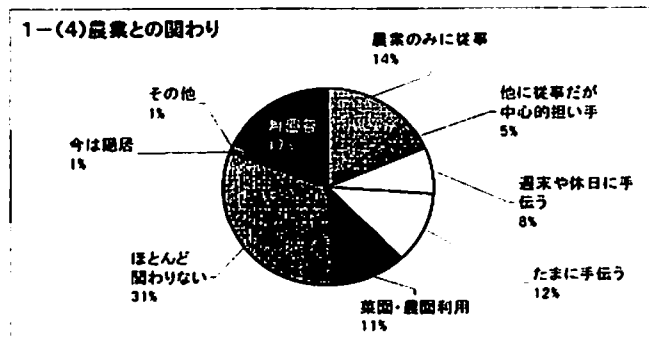
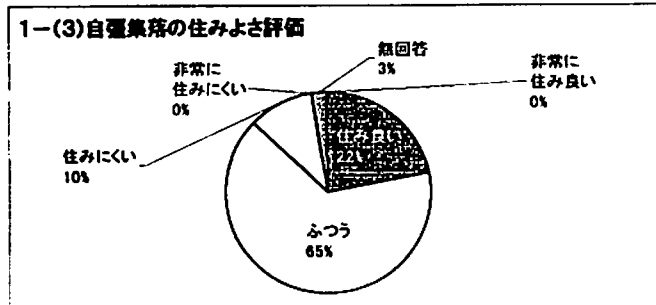
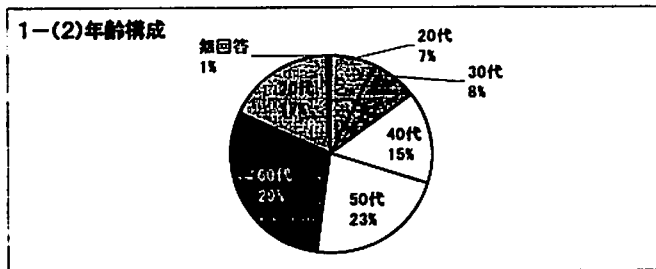
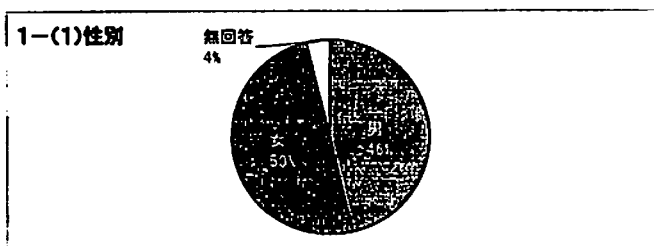
■このたび、自彊里づくり計画に、皆さんのご意見を反映させるため、アンケート調査を実施しました。その結果をここにご報告し、「自彊里づくり計画」の策定に向けて、より具体的な議論を進めるための素材として活用していただきたいと思います。

■調査の実施と回収結果については、下記の通りです。

- (1) 実施： 配布：平成13年6月9日 回収：同6月20日
- (2) 回収率：77.5% (配布数：200部 回収数：155部)

■調査結果は、次のようにまとめています。

- (1) 調査票(別添)で、回答選択式の設問については、集計結果をグラフ化し、回答毎の割合を%表示しています。また回答の内訳を調べたものについては、無回答分を除き集計して、回答件数(回答者数)を表示したグラフを載せています。
- (2) 文章記入式の設問(選択式設問その他欄、自由記入設問)は、「自由記入編」として回答内容を設問ごとに整理しています。(別添)

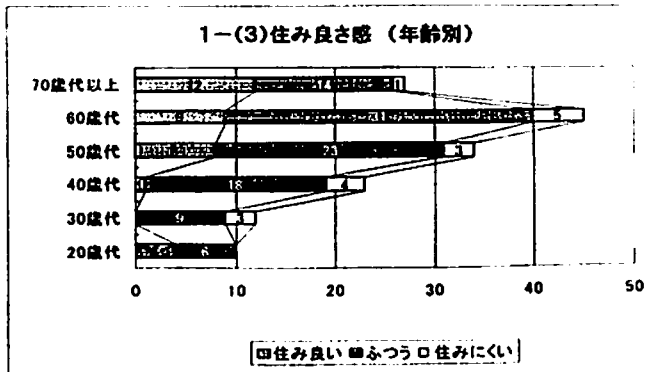


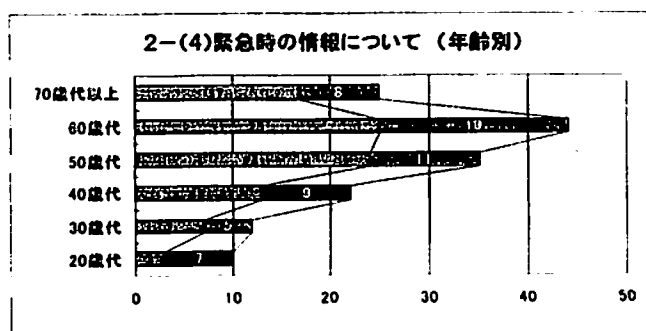
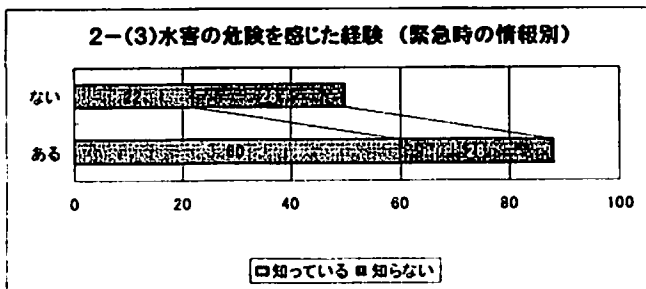
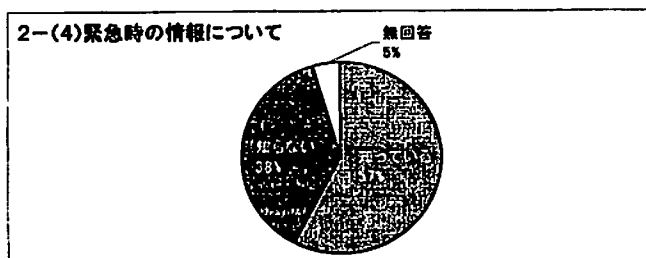
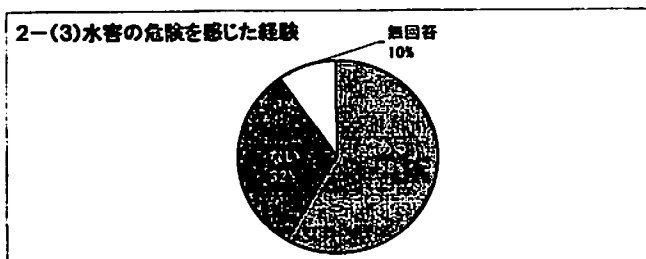
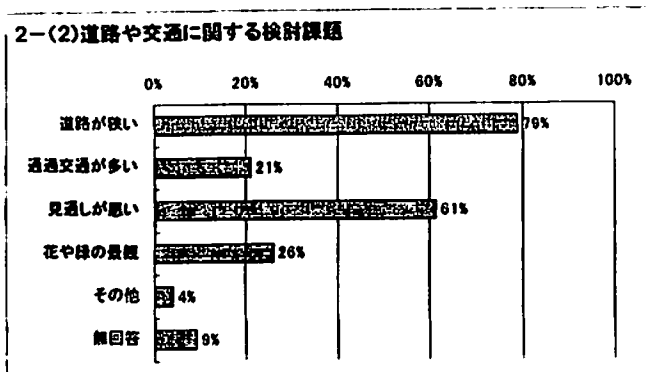
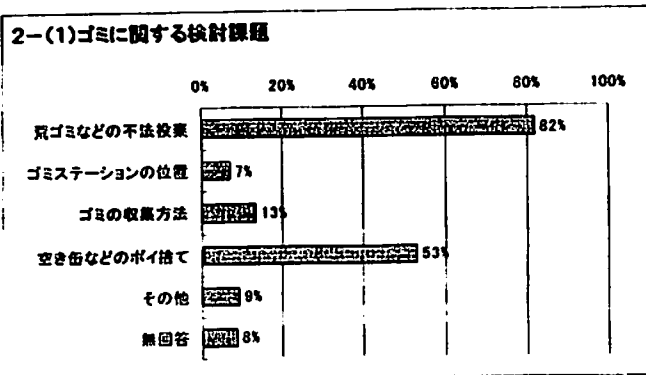
1. 回答者ご自身について

「(2)」の年齢構成を見ると、60歳代以上が46%とおおよそ半数を占めており、一方40歳代以下は3割と、高齢化していることがわかります。

「(3)」は、住み良さに対する結果です。回答は住み良い、ふつう、住みにくいの3つに分かれました。これを年齢別に見ると、各世代でほぼ類似した割合を示していると言えます。(下図)

「(4)」は、農業との関わりについての結果です。菜園程度の関わり以上の方が、おおよそ半数を占めている一方、ほとんど農業には関わりがない方がおおよそ3割となっています。





2. 生活環境について

「(1)」ゴミに関連して検討が必要な課題についての集計結果です。「⑤その他」の記入内容からもわかりますが、地区外からの持込投棄やポイ捨てなど、ルールやマナーを共有しない人達による問題が日常化している状況にあります。この点について、行政等への要望提示だけでなく、日常生活の中で取り組むべき対策を検討する必要があるようです。

(→「自由記入編 p.1「2-(1)-⑤」参照)

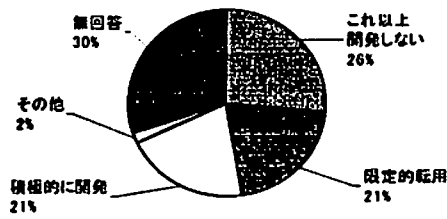
「(2)」は、道路や交通に関する検討必要課題です。道路幅員について、緊急時や防災面から拡幅が必要とされている一方、大型車等の通過に伴う安全確保も問題となっています。さらに安全面では、道路の見通しの悪さが挙げられています。この問題については、地区内の道路について詳細な点検を行い、場所に応じた対策を検討する必要があるようです。

「(3)」は、水害の危険を感じた経験があるかどうかの結果です。「ある」と答えた方が6割近くを占めています。続く「(4)」は、水害を含めた緊急時の避難情報をご存知かどうかの結果です。約6割の方が「知っている」と答えています。さらにこれらの両者に相関があるかを調べたところ、危険を感じたことのある人でも、その3割(28人)の方が緊急時の情報を知らないと答えています。

また左図最下段は、緊急時の情報について年齢別に見たものです。20歳代を除いて、各年齢でほぼ3~4割の人が緊急時の情報を知らないと答えています。

「(5)」は、地域内で改善したい場所について自由記入回答をしていただきました。(→「自由記入編」p.2~3「2-(5)」参照)ここでは、地区内にある民間工場に不安を感じる意見が上がっています。その他では、やはり河川整備やゴミ関連、交通道路問題について回答が多く、地区の重要な課題であることがわかります。

3-(1)今後の土地利用や地域整備のあり方



3. 土地利用・環境保全について

「(1)」は、今後の自彊地区の土地利用や地域整備のあり方についてたずねました。結果は、無回答を除いて、保存、保全、開発にほぼ3分された形になりました。

「(2)」は、地区内の空き地や休耕田の利用アイデアについて自由に書いていただく設問でした。

(→「自由記入編」p.3「3-(2)」参照)

地区内の空家に関して、住居が密集する集落の中で、火災の心配が指摘する回答もありました。また、休耕田利用についてのアイデアも出されています。このアイデアの中には、地区内の道路事情を背景に共同駐車場として活用するという案もありました。この他、活用案を考える以前に所有者の意向を確かめる必要があるとの指摘もありました。これら点を含めて、今後の里づくりの中で、具体的に協議する課題が提示されています。

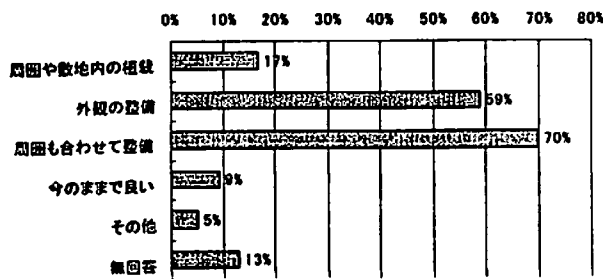
「(3)」は墓地周辺の整備についてたずねました。敷地内や外観など、墓地そのものをきれいにするだけでなく、堤防や道路なども含め、周囲と一体的に整備する必要がありそうです。また、「⑤その他」の欄には、小規模でも駐車場があればよいのではないかという意見も出されています。

(→「自由記入編」p.3「3-(3)-⑤」参照)

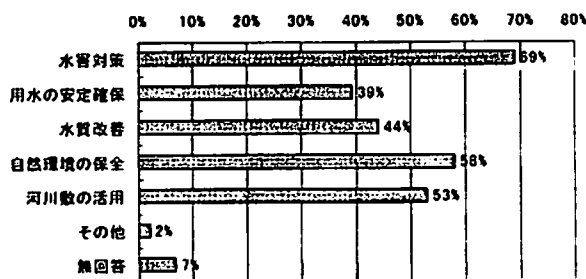
「(4)」では、有馬川や武庫川について、里づくりの中で検討する必要のある課題をたずねました。その結果、何れの課題にも高い関心があることがわかりました。これは、無回答の少なさからもわかります。中でも水害対策が最も高く、続いて自然環境の保全、河川敷の活用策と、何れも半数を超える回答がありました。河川敷の活用策については、水害対策と環境保全の両方に関わることでもあります。特に水害対策は自彊地区の大きな課題の一つです。しかし自由記入の回答にも記されている通り、防災という視点だけで行う整備ではなく、同時に親水性等にも配慮して、今以上に地区の環境を豊かなものにするための河川整備として進める必要があるようです。

(例：→「自由記入編」p.2「2-(5)」など)

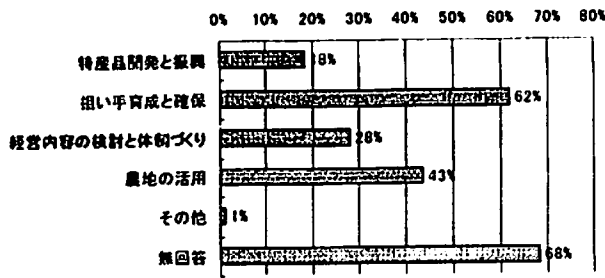
3-(3)墓地周辺の整備について



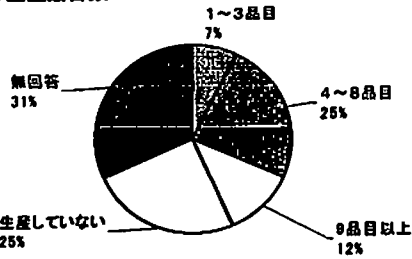
3-(4)河川についての検討課題



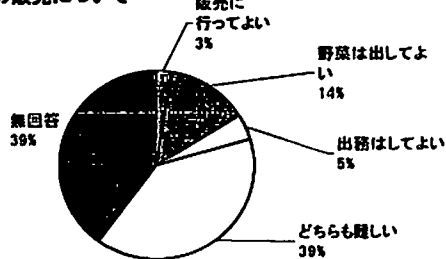
4-(1) 将来の自彊地区の農業について



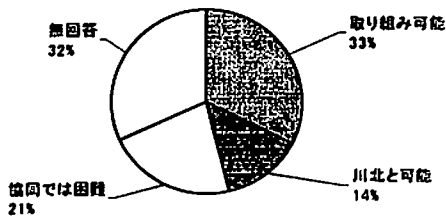
4-(2) 野菜の生産品目数



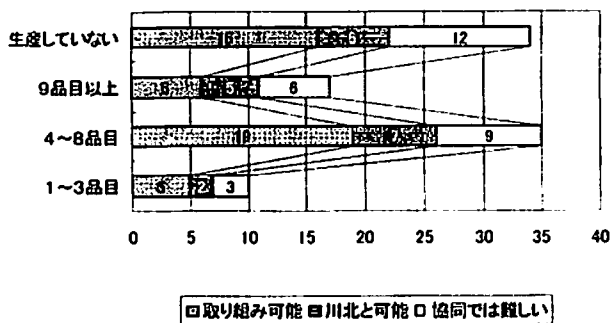
4-(3) 市街地への販売について



4-(4) 農業の協同取り組みについて



4-(4) 協同取り組み意向 (生産品目数別)



4. 地区の産業 (農業) について

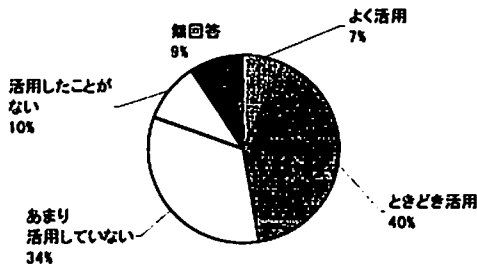
「(1)」では、将来の自彊地区の農業について、検討する必要のあることをたずねました。農業に関わりがない方もいるため、無回答の割合が大きくなっていますが、「担い手育成と確保」が最も多く、6割を超えています。また、複数回答が可能な設問のため、「農地の活用」についても4割を超える回答がありました。休耕田の活用策(→「自由記入編」p.3「3-(2)」)に見られたアイデアなども含めて、今後の議論を要する課題の一つです。

「(2)」は、里づくりの中で、農業面からの取り組みを検討するために、野菜を生産しておられる方の潜在力を知るために設けました。量は問わずどれだけの品目を生産しているかをたずねました。結果は、「無回答」31%と「生産していない」25%を除くと、「4~8品目」という回答が25%で最も多く、「9品目以上」も12%ありました。

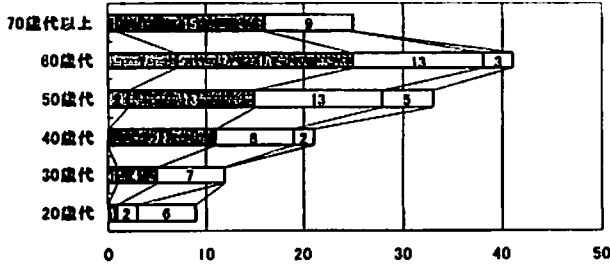
「(3)」は、唐突な内容であったかもしれませんが、昨今の消費者を取り巻く社会情勢を背景に、市街地方面からの要請があった場合や設問のような機会が生じた場合を仮定してたずねました。その結果、無回答を除き、最も多かったのが、「販売も出務も難しい」とする回答(39%)でした。また肯定的な回答の中で最も多かったのは、「販売用の野菜を出してもよい」とする回答(14%)でした。

「(4)」は、「(3)」のような内容も含めて、農業面で他地区との協同運営は可能かどうかをたずねました。結果は3分の1が取り組み可能と回答(33%)しています。特に隣接する川北集落との協同については14%が可能としていて、これらを合わせると47%となります。これを生産品目数別に見てみると、「川北と可能」という回答を合わせた場合、協同による取り組みに対して肯定的な回答が生産品目数によらず半数を超えていることがわかります。これは、野菜を生産していない方についても同じで、肯定的な回答が半数以上を占めています。

5-(1)集会所の活用について

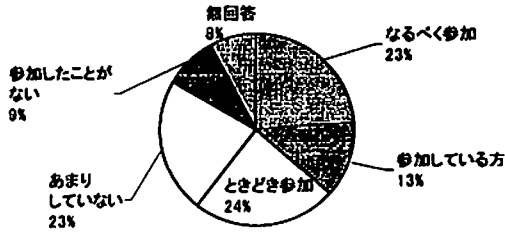


5-(1)集会所の活用について

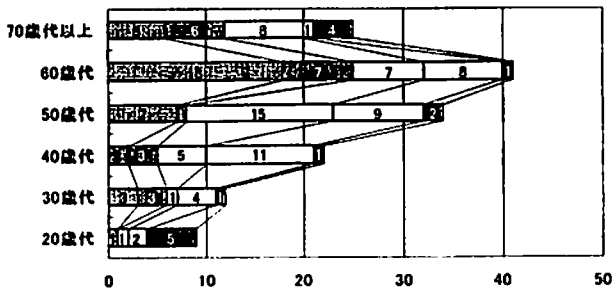


よく活用 ときどき活用 あまり活用していない 活用したことがない

5-(3)地域行事への参加について



5-(3)地域行事への参加 (年齢別)



なるべく参加 参加している方 ときどき参加 あまりしていない 参加したことがない

5. 地域行事などについて

「(1)」は集会所の活用状況についての設問でした。「(2)」の自由記入回答と併せて見ると、自治会や老人会、子供会等、地区内の各団体による定例行事などが、集会所利用の中心であることがわかります。(→「自由記入編」p.5「5-(2),(4)」参照)

しかし、4割を超える方にはあまり活用されていないようです。この回答を年齢別に見てみると、活用している年齢層が60歳代を中心にして高齢層に偏っていることがわかります。活用していないとする回答は、各年齢層にほぼ同じような割合で見られますが、集会所の活用については、地区の高齢化と合わせた検討が必要となりそうです。

「(3)」は、地域行事への参加についてたずねました。その結果「ときどき参加」までを合わせて6割(60%)が参加していると言えますが、年齢別に回答を見ると、20歳代から40歳代、50歳代で参加していない側に回答の割合が増える傾向があります。これは就業などの年代に応じた生活スタイルと大きく関係しているものと思われます。

「(2)」の自由記入回答では、地区内の人の交流や世代間の交流を必要とする意見があり、集会所の活用を通じてその取り組みを検討する必要もありそうです。また趣味や教養での利用をはじめとするアイデアも出されています。この点については、今後の協議検討が必要です。

(→「自由記入編」p.5「5-(2)」参照)

「(5)」では、親しみのある場所や気に入っている場所などを回答していただきました。結果は「自由記入編」(p.6~7)にまとめています。回答には、集落の中にも日頃の生活を通じてこそわかる風景などが記されています。一方、千刈水源地や羽東山など、集落の中だけにとどまらず、周辺の広い範囲の中に、花見などの行楽や日常の風景の中で身近に感じる大切な場所があることがわかりました。

「(6)」では、今後の地域の活性化にむけたアイデアやご意見をいただきました。伝統行事のことや具体的な整備案など、今後の里づくりの議論で材料となり得る様々な回答が出されています。

(→「自由記入編」p.7~8「5-(6)」参照)

自彊里づくり計画 アンケート調査結果

— 自由記入編 —

(その他欄および自由記入回答 まとめ)

はじめに

ここでは、アンケートの中で、「その他欄」や「自由記入設問」への回答についてまとめています。以下は、設問順に記しています。回答は似た内容のものを整理しています。

その場合、文末に(数字)を付加して、異なる回答者による回答があったことを示しています。

()内の数字は、集計や整理のために任意に設けたもので、特に意味はありません。

回答内容は原則として原文のまま掲載していますが、整理のため編集したものもあります。

設問によっては、内容に応じて分類し、新たに項目名をつけて整理したものもありますが、この分類は絶対的なものではありません。

2-(1)-⑤ 「ゴミに関連して、里づくりで検討する必要があると思うこと」

- ・ 荒ゴミの収集回数の増。(67)
- ・ 他の地区より持ち込みがある。(127) (40) (73) (77) (78) (79) (97) (98) (99) (115)
- ・ 田畑の周辺でダイオキシンの出るものを燃やさないようにしてほしい(128)
- ・ カラス対策(143)

2-(2)-⑤ 「道路や交通問題について里づくりで検討する必要があると思うこと」

- ・ 堤防(ドテ)に花や木が植って見通しが悪い所があります。(10)
- ・ 曲がり角に(裏路地に)ミラーをつけてほしい(128)
- ・ もう少し交通の便をよくしてほしい(46)
- ・ 一方通行にしてほしい(72)
- ・ 地区内の道路にポンプ車が入れるようにする事(79)
- ・ 大型が多い。スピードを出している車両が多い。ノーヘル、原付の二人乗り、まるで不法地帯だ。(115)

2-(3)-① 「水害の危険を感じたことがある人が思う回避策」

- ・ 現在決定的なものはない。河川の改修と増水状況を的確に把握して情報の伝達が必要。(40)

■堤防の補強(20)(23)(40)(89)(137)(138)(141)

- ・ 護岸強化、工事の徹底(67)
- ・ 大至急堤防の強化と高さも上げてほしい。(110)
- ・ 春日橋の上流の堤防が増水の時、水害のおそれあり。(128)
- ・ 春日橋の上の堰堤を低くする(約1m)。堤防道路を高く整備する。(99)

■河川の整備(20)(137)(140)(141)

- ・ 河川敷の整備(79)
- ・ 武庫川の整備(8)
- ・ 川の中の木または長い草、ヨシ、アシを刈る(15)

- ・ 草が繁茂している堤防等はおかしい。まちのように河川敷にして太い川幅が必要 (78)
- ・ 河川の浚渫工事および河川内の雑木の伐採 (101)
- ・ 川底の整備 (99) (116) (119) (126) (127)
- ・ 堤防を低くして、川底を下げてみては? (66)
- ・ 川をきれいに (20) (87)
- ・ 水位上がると逆流する。川幅広げては (72)

2-(5) 「地域で改善したい場所とその改善策について」

■河川整備や水害対策に関して

- ・ 有馬川、武庫川との合流部分の整備 (18)
- ・ 有馬川の水害対策、堤防の補強 (1) (2) (17) (40) (65) (104) (138)
- ・ 宮前橋～春日橋までの堤防を本当に強化し、高さを上げる工事を大至急してほしい。(110) (136)
- ・ 有馬川の河川整備。川北・自彊地区は特に河川敷を早急につくり水害対策を施すこと希望する。(78)
- ・ 台風・水害対策等は、真剣に考えるべき!! 来てからでは遅い。自彊集落は最も水害に弱いところ。広い広い河川敷も設けて対策を講じることを切に望む。(79)
- ・ 道場小学校北側の堤防補強を兼ねた桜並木の散策路を春日橋まで (141)
- ・ 有馬川堤防道路を高く整備する。有馬川河床に遊歩道を造り、公園化する(河川敷の活用) (99)
- ・ 河川をきれいに (82)

■地区内の具体的場所や施設に関して

- ・ リバースケミカルの横のスクラップの車 (8)
- ・ 人が住んでいない古家をこわしてほしい。危険である。(128)
- ・ 地区内の公園内に水道手洗所並びにトイレを設置してほしい (15)
- ・ 道路、河川と堤防、消防関係施設充実 (67)

■危険物を扱う工場や倉庫

- ・ 民家近くに油会社があつて危険を感じている。油の保管場所など気になる。2ヶ月に一度位は消防署による見回り点検しチェックしてほしい。(66)
- ・ 危険な所: リバースケミカル、危険物保管場所を住居地区より遠方へ。(70)
- ・ 廃油処理工場がある。汚い工場、臭い工場、危険な工場とされている。なしくずし的に増築しているが許可しているのか。しているなら、自衛消防の訓練もしてない。本当に消防局は安全と思っているのだろうか。(72)
- ・ 危険物を取り扱いしている会社等はこの地区には好ましくないと思う。公害も心配する。移転すれば一番好ましいが、できなければ安全と美化にもっと力を入れてもらう事 (73)
- ・ 危険物を扱う工場があるが、公的に許可されているのか疑われる。神戸市内だけの被害だけでなく、三田市内まで影響があるが、安全面からも保障されるのか。できれば撤去してほしい。(95)
- ・ 油の精製所が怖い (142)
- ・ 危険な所 油会社。いつもひやひやしています。(155)
- ・ 不法な危険物倉庫がある。大型車両の路上駐車。消防署や警察などの取締りの強化をすべき。(115)

- ・ 危険物を取り扱う工場があるが、本当に安全なのか？ どこまで保障されるのか。この地域には不適と考え、撤去を願う。(103)

■ゴミステーションの利用マナー

- ・ ゴミステーションにいつでもゴミが出ている状態なので、日時をはっきりしてそれ以外は出さぬようにする。地区内に工場がありますが危険のないようにしてほしい。(69)
- ・ マナーが悪く収集日に関係なく毎日ゴミが置いてある。景観上好ましくない。(97)

■交通・道路問題

- ・ 通学路において、交通する車が増加しているが、歩道として設けられていないため危険である。PTAで草刈しているが、限界がある。見通しのよい通学路であるべきである。(103)
- ・ 3組内車が通り抜ける道があれば良い(絵あり)(129)
- ・ 有馬川堤防道路上、片側に乗用車を常時止めてあり非常に好ましくない。(19)

■その他

- ・ 昨年はじゃがいもを収穫する時期に猪にやられてしまった。改善策として堤防のまわりに網を張りめぐらす。(144)

3-(1)-④「今後の土地利用や地域整備のあり方について望ましいと考えること」

- ・ 設問の以前に、農地最優先で行くのか、開発施策を進めるのか中途半端。(79)

3-(2)「地区内の空き地や休耕田を利用して、より豊かな環境にするアイデア」

■空家に関して

- ・ 地区内の空き地、空家の整備および管理。火災問題、環境問題に関係する。◎特に空家については、注意、管理をしてほしい。(15)
- ・ 空家もあり・・・火災の危険あり。撤去するか安全の為、出入り口、窓等、封印する。(72)

■休耕田の利用について

- ・ 花を一面に・・・(25)
- ・ 放置せず、他に貸してでも豆など作物を作るようにする。(66)
- ・ 休耕田は畑をしたい人に貸す。都会の人に貸す。(72)

■活用の用途について

- ・ 駐車場にする(44)
- ・ 消防団の器具庫。公園。共同の駐車場(115)

■所有者の意向を確かめる必要他

- ・ その前に空き地・休耕田を提供する気が当事者にあるかが必要不可欠。(78)
- ・ 空き地・休耕田はその土地の持主、所有者の権利・利用・不利用は、市・県の施策であると考察する。◎所有者の権利をもっと好利用するのか？ ◎市・県の施策をもって事業に役立つ為のものにするのか？ その「線引き」を早急に明確にするべき！！(79)

3-(3)-⑤「現在の墓地周辺について、望ましいと考える整備」

■墓地の付帯施設の整備について

- ・ 今の建物は全部壊して、小さな倉庫と日除け、雨除けのできる小さな建物を設ける。(66)
- ・ 少しでも良いから、駐車場があれば良いのでは。(10)(78)(79)(115)

■墓地周辺の整備について

- ・ 三田市の堤防はきれい。堤防の上道路も歩けるようにしては。(72)

3-(4)-⑥「河川について、里づくりの中で検討すべき重要課題」

- ・ 歩道(堤防)専用道がよい(72)
- ・ 風水害・台風の対策が一番(78)
- ・ 川原をきれいにしてほしい。犬を散歩させるなら、フンのしまつをきちんとしてほしい。(120)

4-(1)「将来の地区の農業について、里づくりの中で検討すべき重要課題」

- ・ 大農家・小農家の取り扱いが極端→里づくりのネック(79)

4-(5)「地区の農業や農地利用等について、地区の将来についての意見・アイデア」

■道路・交通に関する意見・アイデア

- ・ 交通面が不便です。バス、電車の駅が遠すぎると思います。・買い物も不便で近くに店が少ないと思います。(9)
- ・ 地区内有馬川の堤防に個人的に植木を植えたり、花、竹が植えてある道から堤防へ車で上がるのに見通しが悪く事故につながるので処分または注意してほしい。また災害にも関係する。◎村内の道路駐車または道路にはみ出し駐車はやめてほしい。交通事故でトラブルが起きた場合、近所並びにその他お互いに気まづい思いをしなければならない場合が無きにしもあらず。◎特に堤防の法面に個人的に植えている植木、竹については交通に見通しの悪い所は処分していただきたい。花は少々よいと思う。美化のため。(15)
- ・ 人が気持ちよく歩くことのできる場所にする。堤防、歩道、河川敷、(駐車禁止)農道。(72)
- ・ (図を使って、地区内の道路問題を指摘)(16)

■地区農業に関する意見・アイデア

- ・ 現在、地区農業はアルバイト的農業だと思います。米については、専業農家にしては面積が少なすぎるしまた兼業にしても他でも収入の一部を農業に回すのが現実だと思います。将来、農業を主にやりたいと思っている若者もいるとは思いますが、専業の場合は、自彊地区と他地区も合わせて共同で農業をする(最低でも一人当たり10ヘクタール)共同組織を作る。(18)
- ・ バイパスの道端に、共同の100円ショップ(小さな小屋)を作り、出せる人は、自分の所で余った作物を2コでも3コでもよいから持ち寄って出品する。無農薬で取れたての野菜があれば、値を安くすれば売れるし、お年寄りの小遣いくらいになるのでは?(66)
- ・ 味噌、しょうゆ等の共同作業場所を作ってはどうか。うまく、おいしく作れるようになれば、余った分は売れるかも?(66)
- ・ この村としての地域おこしの案を、アンケートしてみてはどうか。誰かがいい案を出してくれるかも?(66)
- ・ 農地は人に貸してでも田畑として活用し、風景をよくする(自然な姿)。(72)
- ・ 自彊付近は歩道の天国にして花・植樹に心がけたら。(72)
- ・ 老人が大半で、家庭菜園の様子ですから、休耕田等は地区が借り、花また菜園として利用し、市場に出し、割合をし、収入とする。(自治会また農会が中心となって株式会社化し事業に取り組む)。(73)
- ・ 若者が住める新しい住居を建て、受け入れる地区作りを考える。(73)
- ・ 担い手のない農業が多いのでは? 農地も斡旋して住宅地に切り替えるなど、利用の高い方策

を講じることも必要。(78)

- ・ 現状は、広い農地、担い手もない。息子も百姓してない。いやがる。そんな中で地上げして、家建てるほうがえいでェ！！ このあたりを抜本的に見直し、行政も取り組み、刷新しなければ、双方「農業の振興と地区の開発」は進捗しない。(79)
- ・ 一括請負の農業代行会社の設立を望む。株式会社とし、出資は農地も可とする。労働力はパートタイマーとして農業経験者の中から希望者、あるいは農業研修者、その他に素人の希望者などとする。他に農業塾を実施。菜園をやってみたい人々を集め、指導実習を行う。送迎バス、レンタル農具、指導、その他管理にシルバー人材を充当する。上記の様なことが可能ならば、定年迄は会社勤めに専念できる。また、現在の社会環境の中では専念しないと残っていけない。(143)

5-(2) 「集会所を利用する活動や行事について(新しいアイデアもあれば)」

■従来の活動や行事

- ・ 自治会の集会、総会(年一度)(1)(15)(18)(29)(40)(67)(96)(99)(116)(119)(126)
- ・ 老人会活動(福寿会)(18)(23)(40)(67)(99)(119)(126)
- ・ 子ども会(23)(40)(46)(70)(75)(98)(99)(103)(110)(115)
- ・ 婦人会(40)(75)
- ・ 趣味の会(23)(40)
- ・ 消防団(70)(85)(110)(115)
- ・ カラオケ(40)
- ・ 集会所の掃除(72)(126)(128)
- ・ 集会所備具(机、コピー機等)の利用(99)(129)

■これからの新しい活用方法について

- ・ もっと村の一般の方々の寄り合いの場を持ってほしい。(15)
- ・ 子供や青少年、老人等、世代の違った人達の交流の機会を計画してはどうだろう？(21)
- ・ 自由な出入りで娯楽場的でないと、利用難しい。単なる集会所でいつも閉じられている。(72)
- ・ もっと若い人の意見・希望も組み込まなければ。(79)

■趣味や教養の教室を開催

- ・ 将棋、読書、その他(40)、囲碁の勉強会など(141)
- ・ 料理教室、手芸等も教えてほしい(9)(22)(82)、お花、生花(99)
- ・ カラオケ教室、(99)(140)(141)
- ・ パソコン教室(78)(99)

今、70才、80才の人が多勢パソコン教室に参加されています。古いパソコンでも何台か調達できれば、村のお年寄りも使える人が講師となって、誰もがインターネットで色々な情報を得られる教室を開いてみてはどうか。(66)

- ・ 習字などの教室(99)
- ・ 講演会(78)
- ・ 集会所の利用ですが、現況老人会の日曜開放が毎日曜あるぐらいで、他は各団体の役員会、総会などがその都度あるぐらいですが、今後の計画として、料理、生花教室、囲碁、将棋な教養と親睦を高めるための集会所利用を考え、皆様に参加を呼びかけては・・・と思いますが。(101)

5-(4) 「現在、地域の行事として参加することがあるもの」

■地区行事（清掃関係）

- ・ 地域の掃除、草刈、クリーン作戦など（年2回）（1）（2）（8）（15）（29）（40）（59）（66）（72）（75）（80）（141）
- ・ 自治会：溝、墓、堤防（129）
- ・ 農会：ポンプ場草刈、水槽汚上（129）
- ・ 氏神馬場掃除（129）
- ・ 老人会：公園、お寺（月1回）（2）（129）

■地区行事

- ・ 自治会集会・行事など、年度末総会。（15）（40）（59）（67）（72）（83）（101）（126）
- ・ 老人会諸行事（40）（72）（74）（101）（126）
- ・ 寺院の行事（67）
- ・ 子供会、消防団（70）
- ・ 農会行事（72）
- ・ テレビ組合役員会（101）
- ・ 集会所日曜開放（101）
- ・ 敬老の日のボランティア、奉仕活動（72）（78）
- ・ ふれあい昼食会（119）

■伝統行事

- ・ 塩田八幡宮の厄除祭、夏祭、秋祭（40）（46）（138）（143）
- ・ 盆踊り（32）（82）（99）（115）（119）（141）
- ・ 地藏盆（46）

■広域イベント

- ・ 町民運動会（8）（32）（44）（46）（79）（82）（99）（115）（119）（141）
- ・ 文化祭（79）（99）（115）（138）（141）
- ・ 道場史の勉強会、歴史教室（79）（99）
- ・ 千刈水源地の桜祭り（46）

■その他

- ・ 活動場所として利用を良くするための手助け（23）
- ・ 子供が小さいときは参加していたが、大きくなって参加することがなくなった。（9）
- ・ 今後もっと地区内の人と人との交流の輪を実施してほしい。（15）

5-(5) 「地域の中で親しみ訪れる場所、お気に入りの場所、自慢できる場所、保全すべき場所など」

■塩田八幡宮（2）（4）（9）（18）（38）（44）（46）（56）（73）（79）（101）（103）（108）（112）（116）（119）（128）

■照願寺（2）（9）（15）（16）（44）（46）（53）（56）（67）（79）（101）（103）（108）（112）（119）（122）（126）（128）

- ・ お正月の初詣は、八幡宮や照願寺などに行っている。（9）
- ・ 照願寺へお参りする程度。（15）

■春日橋（2）（56）（114）

- ・ 秋、春日橋より眺める風景が特に夕日が沈む頃、最高に美しい。春日橋前の山の紅葉が、川の

風景とマッチしてすごく美しい。(97)

- ・ 宮前橋南側の桜堤 (101)
- 有馬川 (2) (19) (46) (56) (67) (67) (108) (136)
 - ・ 有馬川、武庫川、周辺、散歩 (19)
 - ・ 桜の満開時の有馬川、武庫川の堤防 (42)
 - ・ 両河川を整備し美しく河川敷を利用する。(73)
- 眺めの良い堤防の道 (2) (15) (32) (46) (52) (56) (61) (114) (122) (123) (128)
 - ・ たまにぼんやり堤防の道より景色を眺める。(15)
- 道場駅に続く桜並木の歩道 (46)
- 集落内の道路 (122)
- ホテルの出る場所 (2) (32) (44) (67) (92) (93) (103) (119) (126) (128) (136)
 - ・ ホテルがでることは、すごくキレイな証拠だけど。車を数台道の所に止めて、三田の人とか取りに来ているのを見た！ 話しを聞いたことで、どこかの業者が掃除機で取りに来ていたらしい。(95)
 - ・ (保全すべき場所) (103)
 - ・ ホテルの出る場所を保全し、またホテル取りの禁止、規制、確保すべき。(今年のホテルは少しだけしか見られなかった) (115)
- 千刈水源地 (18) (27) (38) (40) (46) (79) (82) (128)
 - ・ 千刈水源地、桜 (27)
- その他 (地区内及び近隣)
 - ・ 公園 (46) (128)、八景山 (92) (93)、周囲を山々に囲まれた農村の風景 (66)
- その他 (地区周辺)
 - ・ 鎌倉峡 (18) (40) (79)、百丈岩 (79)、羽束山 (18)、山崎大師 (40)
- その他
 - ・ ふるさとらしい故郷でよいのでは。(78)

5-(6) 「今後、地域を活性化するために取り組むことについて意見やアイデア」

- 地区内の集まる機会や行事を作る
 - ・ もっと人のよる機会を作ってほしい。雑談話でも結構。集会所のカラオケもよいと思う。村の人全員よるのもよいが、各隣保内でよるのもよい。集会所をもっと利用するようにすればよい。お茶でも飲みながら忘年会、新年会もよい。◎特に村内の方で知らない方がおられるので、もっと人間関係の交流の輪を広げてほしい。◎遠い親戚より近くの他人。ともに仲良くするよう心がけよう。(15)
- 伝統行事
 - ・ 人口が少なくなったので、これまであった行事も少なくなっている。(32)
 - ・ 私達の幼少の頃は少年野球、子供相撲、盆踊り、秋祭太鼓など楽しい行事がいっぱいでしたが、最近ではほとんど行事も無くなりました。せめて伝統の盆踊りの復活で親睦をはかってはと思います。(101)
 - ・ まつり (136)
- 地区の将来の方向、取り決めや姿勢などについて
 - ・ 若い人の住みよい所にしたい。(8)

- ・ 人家の密集したこの地区での火災発生時の初期消火態勢の取り組み（老人会）、防犯態勢（伝達）（40）
- ・ 住民の意識の変革。他力をあてにするより自助の努力を。（78）

■地区整備のアイデア

- ・ ハイキング、サイクリング等、他から人が村中を歩いたり走ったりしてもらえるような道しるべや、案内の建看板を増す。道端には季節の花を植え、この地区を歩いてみようかなと思われるようなむ村づくりをする。（66）
- ・ 老人が多くなってきているので買い物などがしにくくなっているので地区で店舗？運営はどうか。（8）

■公共交通機関、道路などについて

- ・ 公的交通機関の設置（市バス等）（67）
- ・ 高齢化時代に入り、この地域には交通の便が悪い。通院、買い物等、三田駅または道場駅まで定期便（マイクロバス等）を運行してほしい。（72）
- ・ 道路の整備（118）

■地区内の企業や会社などについて

- ・ 企業（土木関係や公害企業）の誘致しない。経営者が次々と変わり、ゴミ捨て場のような会社が多い。周囲の環境に合わない建物会社の許可はNG。（72）
- ・ 公害企業の地域内からの早期移転をしてほしい。公害企業との共存はできない。公害企業があるかぎり、老人、子供が安全で安心して住める里づくりはできない。（74）
- ・ この地区内、危険物を取扱う企業が2社存在するが、異臭や騒音等に迷惑を感じている。地域と共存共栄を考えるととは思えないし、なんら利点も無い。特に有機溶剤は体内に蓄積され”ガン”等の病気になりえる。老人・子供すべての人々が安全で安心して住める様にするべきである。（115）

■河川や河川敷・水環境、地区の美化作業について

- ・ 川の水質をより改善し、小川を作り、ホタルの里等を考える。また、花の里等も同時に。（73）
- ・ もっと、川とかキレイにしていきたい・・・。田んぼに缶、ビニール袋をポイ捨てしないでほしい！（以下のコメントは記載者別：見通しが草でかくされ悪いため、ポイ捨てをされると考える。年に数回だけでも住民だけでなく、市の方からも草刈に協力すべきである。）（95）
- ・ 有馬川を取り込んだ景観のよい、ゴミのない、美しい町。町の美化運動。定期的な清掃。ガーデニング。（99）
- ・ （1）堤防の拡充、（2）河川敷を造る（遊び、観光の場ではなく（これは二の次）水害から回避する為で結果をもって美観もよくなる。住民が毎年毎季、ボランティアで奉仕（草刈、クリーン作戦）するにも限界がある。（79）

自彊 里づくりに関するアンケート調査

はじめに

このアンケートは、自彊地区で取り組む「里づくり計画」に活かすために行うものです。調査結果は、とりまとめた後、里づくり協議会を通じて皆さんに報告します。

内容は、自彊地区と周辺地域に関する様々な事柄についての質問です。ぜひ、そのすべてにお答え下さい。皆さんのご意見を里づくり計画に反映させるため、自由記入欄もぜひお書き下さい。

回収した調査票及び回答内容については、取り扱いに充分注意し、里づくり以外の目的では使用しませんので、安心してご回答下さい。

回答方法

この調査票は、地区の20歳以上の方全員に配布しています。それぞれの方がお答え下さい。

回答方法は、以下の3つのタイプがあります。

- ・丸数字の選択肢のうち、一つ選んで○をつける。
- ・丸数字の選択肢のうち、該当するものすべてに○をつける。
- ・（ ）や空欄部分に、自由に意見などを記入する。

回答上の注意事項

この調査票がこすれたり濡れたりして、回答の内容が消えたりかすれたりすることのないように、記入するときには、なるべくボールペンやサインペンなどを使って下さい。

では、よろしく申し上げます。

1 回答者ご自身について

(1) 性別をお答え下さい。

- ① 男
- ② 女

(2) 年齢をお答え下さい。

- ① 20 歳代
- ② 30 歳代
- ③ 40 歳代
- ④ 50 歳代
- ⑤ 60 歳代
- ⑥ 70 歳代以上

(3) 自彊集落の住みよさについて、次から一つ選んで○をつけて下さい。

- ① 非常に住み良い
- ② 住み良い
- ③ ふつう
- ④ 住みにくい
- ⑤ 非常に住みにくい

(4) あなたご自身は、農業にどの程度、関わりを持っていますか。次から一つ選んで○をつけて下さい。

- ① 農業のみに従事している
- ② 他の職業についているが、農業の中心的担い手である
- ③ 週末や休日に農業を手伝っている
- ④ たまに手伝うことがある
- ⑤ 農家ではないが、家庭菜園、貸し農園を利用している
- ⑥ ほとんど農業に関わりがない
- ⑦ かつて農業をしていたが今は隠居している
- ⑧ その他 ()

2 生活環境について

(1) ゴミに関連して、今後の「里づくり」で検討する必要があると思うことについて、以下の中から選び、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ① 荒ゴミなどがマナーを守らずに捨てられること
- ② ゴミステーションの位置について
- ③ ゴミの収集方法について
- ④ 地区内の空き缶などのポイ捨て
- ⑤ その他 ()

(2) 道路や交通問題について、今後の「里づくり」で検討する必要があると思うことについて、以下の中から選び、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ① 地区内の道路が狭いこと
- ② 通過交通が多いこと
- ③ 見通しが悪く危険であること
- ④ 道路や路地に面した場所の花や緑を用いた景観づくり
- ⑤ その他 ()

(3) 今までに、有馬川や武庫川の氾濫など、水害の危険を感じたことがありますか。あればその回避策を教えてください。

- ① ある
- ② ない
- (回避策:)

(4) 緊急時の避難ルートや避難場所をご存知ですか。(一つ選んで下さい)

- ① 知っている
- ② 知らない

(5) この地域の中で改善したい場所(危険な所、景観上好ましくない所)があれば、自由に記入して下さい。またその場所について、どのようにすればよいか改善策も記入して下さい。(絵やイラストでもかまいません。)

4 地区の産業（農業）について

(1) 将来の自強地区の農業を考える時、今後の「里づくり」で検討する必要があると思うことについて以下の中から、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ① 特産品の開発と振興
- ② 担い手の育成と確保
- ③ 経営内容の検討と体制づくり
- ④ 農地の活用
- ⑤ その他 ()

(2) 現在の農地利用については、稲作と家庭菜園的生産が行われていると思われませんが、野菜類は、少量でも数品目生産されていることが想定されます。現在、何品目生産されていますか。(一つ選んで○をつけて下さい)

- ① 1～3品目
- ② 4～8品目
- ③ 9品目以上
- ④ 生産していない

(3) 今、仮に市街地（灘区など）の商店街から「少量で結構ですから、土日のみ野菜の販売に来て欲しい」と依頼があったとすると、販売に行ってもよいと思えますか。(一つ選んで○をつけて下さい)

- ① 販売に行ってもよい
- ② 販売までは出来ないが、販売用の野菜は出してもよい
- ③ 販売用の野菜は出せないが、出務はしてもよい
- ④ 販売も出務も難しい

(4) 里づくり計画の先行する地区（川北集落）や協調する他地区と運営の面で協同して取り組むことは可能ですか。(一つ選んで○をつけて下さい)

- ① 取り組むことは可能
- ② 川北集落となら可能
- ③ 協同で取り組むことは難しい

- (5) 自強地区の農業や農地の利用等について、また地区の将来について、ご意見やアイデアがあれば、自由にご記入下さい。(絵やイラストでもかまいません。)

5 地域行事などについて

- (1) 地区内でさまざまな活動をする拠点として集会所があげられます。この活用状況について、次の中から一つ選んで○をつけて下さい。
- ① よく活用している
 - ② ときどき活用している
 - ③ あまり活用していない
 - ④ 活用したことがない
- (2) あなたが集会所を利用する活動や行事を下にお書き下さい。現在のものだけでなく、新しい活動や行事のアイデアなどもあればお書き下さい。
- (3) 地域の行事には参加していますか。(一つ選んで○をつけて下さい)
- ① なるべく参加するようにしている
 - ② 参加している方だ
 - ③ ときどき参加している
 - ④ あまり積極的に参加していない
 - ⑤ 参加したことがない
- (4) 現在、地域の行事として参加することがあるものについて、その名称を下にお書き下さい。

- (5) 自彊地区周辺も含めて、この地域の中でよく親しみ訪れる場所、お気に入りの場所、自慢できる場所、保全すべき場所などについて教えてください。(下に自由に記入して下さい。)

(例) 塩田八幡宮、照願寺、春日橋、八景山、有馬川、武庫川、
眺めの良い堤防の道、集落内の路地、ホタルの出る場所・・・

- (6) 今後、地域を活性化するためには、どのようなことに取り組めばよいと考えますか。ご意見やご提案、アイデアなどあれば自由に記入してください。

ご協力、ありがとうございました。